

藍韋威肩白腹巻(伝足利尊氏奉納)

指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	あいかわかたしろはらまき(でんあしかが たかうじほうのう)
所在地	瀬戸内市牛窓町千手 遍明院
指定年月日	明治34年8月2日
解説	<p>胴高29.7cm、胴周79.0cm、草摺高27.0cm。室町時代初期の制作で、県下に残された数少ない腹巻の優秀作の一つ。この腹巻には喉の部分を防護する装具である喉輪が残されている。腹巻は、元は下級武士の軽武装であったが、南北朝以後の戦法の変化により騎乗の上級武士も着用するようになった。足利尊氏が瀬戸内市の遍明院に奉納したと伝えられている。</p>
アクセス方法	
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	
備考	